

系統豚の組合せ試験

杉山 昇・穎川 隆・福島俊八郎・松元計士 (鹿児島県畜産試験場)

Noboru SUGIYAMA, Takashi EGAWA, Shyunhachiro FUKUSHIMA and Kazuhito MATSUMOTO :
Performance of Crossbred Sows from Two Different Developed Strains and the Progeny

本県ではパークシャー種系統豚サツマの造成を完了し現在サツマを雌系とした利用体系を確立する目的で組合せ試験を実施しているが、今回新たに成果を得たので報告する。

1. 材料及び方法

サツマの雌にクニエルの雄を交配して生産されたBL (雌)にサクラ 201 (D・雄), ハマユウH (H・雄)を交配して3元雑種BLD, BLHを生産し, BLの繁殖能力と産子の産肉能力について比較検討した。

試験は春交配と秋交配の2回実施し, 繁殖試験豚は単飼, 制限給餌ですべて自然交配を行い, 産子は4週令で離乳した。産肉試験豚は1腹から去勢2頭, 雌2頭を供試し, 市販の肥育用飼料 (体重30~50kgまでTDN77.0%, DCP14.0%, 50~105kgまでTDN76.5%, DCP13.5%)を産肉能力直接検定基準に準じたTDN摂取量となるように給与した。

2. 結果及び考察

繁殖成績は第1表のとおりで, 子豚頭数は生時, 離乳時いずれも1回目 (春交配)はD区, H区に間に差は認められなかったが, 2回目 (秋交配)はD区がH区に比べ有意に多くなっていた。子豚体重は1回目は両区に間に差は認められなかったが, 2回目は子豚頭数との関係もあり, D区がH区より小さかった。

産肉成績については第2表のとおりで, 105kg到達日齢は去勢, 雌ともにBLDがBLHに比べて早く, 1H平均増体重はBLDがBLHよりも大きく, また, 飼料要求率はBLDがBLHよりも優れていた。

背腰長IIはBLHがBLDよりも長く, 背脂肪の厚さ (背)はBLHがBLDより薄く, ロース断面積はBLDがBLHよりも大きかったが, ハムの割合は両区に間に差は認められなかった。と体形質については両者の体型上の特徴がよく表れた結果となっていた。

枝肉の上物率は1回目, 2回目, 去勢, 雌いずれもBLDがBLHよりも高かった。この要因としては, 背脂肪の厚さはBLHがBLDより薄く, また, 産肉試験の時期は1回目が寒冷期, 2回目が温暖期であったため, 1回目は2回目に比べ背脂肪は薄くなっており, このため1回目は2回目に比べて, またBLHはBLDに比べ薄脂による格落ちが多くなっていた。逆に, BLDの去勢は2回目 (温暖期)が脂肪厚に起因する格落ちが多くなっていた。

以上の結果から, BLの交配相手の系統としてはサクラ 201 (D)を用いた方が有利であることが明らかとなったが, 今後はさらにBLDの上物率を向上させるための季節や性の違い等を考慮した飼料給与方法について検討する必要があると思われる。

第1表 繁殖成績

反復	区	項目	交配頭数	受胎頭数	受胎率	1腹当たり子豚頭数		育成率	子豚1頭当たり体重	
						生時	離乳時		生時	離乳時
1回目	D	♂	17頭	15頭	88.2%	9.6頭	8.3頭	94.3%	1.2kg	5.6kg
	H	♀	18	18	100.0	9.3	8.6	93.9	1.2	5.4
2回目	D	♂	15	15	100.0	11.0*	8.7*	82.3	1.1	5.0
	H	♀	15	14	93.3	9.3	7.4	82.8	1.3	5.2

注) *: 有意差 (P<0.05)

第2表 産肉成績

反復	区	項目	例数	105kg日齢	DG	FC	CLII	BF	RE	HR	上物率
1回目	D	♂	29	190.1	696.7	3.41	69.1	1.50	22.8	31.3	72.4
		♀	28	190.1	694.5	3.43	69.9	1.23	26.4	32.1	42.9
	H	♂	28	195.6	656.8	3.51	70.2	1.32	22.4	31.8	50.0
		♀	29	194.9	653.6	3.55	70.9	1.17	25.3	32.2	31.0
2回目	D	♂	26	190.1	713.9	3.28	70.2	1.77*	20.7*	30.7	57.7
		♀	26	193.6	683.2	3.41	70.5	1.44	25.0	31.1	76.9
	H	♂	25	194.4	690.4	3.37	70.6	1.61	19.3	30.6	40.0
		♀	22	203.3	647.0	3.43	71.2	1.23	22.4	31.6	45.5

注) *: 有意差 (P<0.05) DG: 1月平均増体重 FC: 飼料要求率 CLII: 背腰長II BF: 背脂肪の厚さ (背) RE: ロース断面積 HR: ハムの割合